

エコアクション21

# 環境活動レポート



2023年度〔最新版〕

運用期間 2023年4月～2024年3月



旭開発 株式会社

## 【 目 次 】

表 紙	… 1
目 次	… 2
1. 組織の概要(事業所名、所在地、事業の概要、事業規模等)	… 3
1) 事業者名及び代表者名	
2) 所在地	
3) 環境管理責任者及び事務局	
4) 連絡先	
5) 事業活動の内容	
6) 事業規模	
7) E A - 2 1 推進組織図	
2. 対象範囲(認証登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日	… 3
3. 環境方針	… 4
4. 環境目標	… 5
5. 環境活動計画	… 6
6. 環境目標の実績	… 7
7. 環境活動計画の取組結果のその評価	… 8
8. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	… 9
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	… 1 0
1 0. 代表者による全体評価と見直しの結果	
1 1. 環境活動状況	… 1 1

## 1. 事業概要

### 1) 事業者名及び代表者名

旭開発株式会社  
代表取締役 黒木 豊幸

### 2) 所在地

本社 〒883-005 宮崎県日向市向江町1丁目200番地

クボタ倉庫 〒883-0068 宮崎県日向市亀崎西1丁目74-1

### 3) 環境管理責任者及び事務局

EA-21 責任者 : 工事部 松本 淳一  
EA-21 事務局 : 総務部 黒木 紀子

### 4) 連絡先

連絡担当者 : 松本 淳一 (EA-21責任者)  
TEL 0982-52-6100 FAX 0982-52-6101  
E-mail : a.k6100@galaxy.ocn.ne.jp

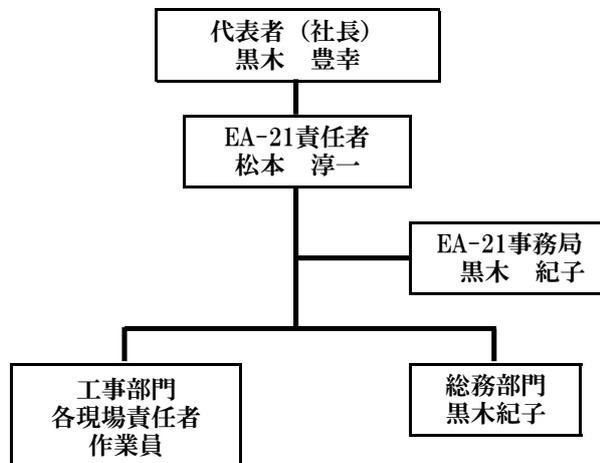
### 5) 事業活動の内容

建設業 (土木工事業、舗装工事業、とび・土工工事業、浚渫工事業、石工事業  
鋼構造物工事業、水道施設工事業、塗装工事業、解体工事業)

### 6) 事業規模

項目	単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
従業員数	人	8	7	7	7	8
床面積	m <sup>2</sup>	50	50	50	50	50
敷地面積	m <sup>2</sup>	50	50	50	50	50
工事件数	件	10	7	10	12	15

### 7) 推進組織図



## 2. 対象範囲(全組織・全活動)、レポートの対象期間及び発行日

認証登録範囲 本社 〒883-0051 宮崎県日向市向江町1丁目200番地

レポート対象期間 2023年4月1日～2024年3月31日

レポート発行日 2024年5月30日

### 3. 環境方針

# 環境経営方針

#### 【環境方針】

旭開発株式会社は、建設工事を通して自然と社会の環境負荷の低減に努め、継続的に環境の保全と改善に取り組んでいきます。

#### 【行動指針】

1. 環境保全に関する法令等を遵守します。
2. 環境に与える影響を削減する為以下の事項に取り組めます。
  - ・ 環境に配慮した低騒音、低振動の機械類の使用。
  - ・ 雨水等の利用による節水の徹底。
  - ・ 本社及び現場での電気使用量の削減。
  - ・ マニフェスト管理による産業廃棄物のリサイクル処理の徹底。
3. 建設工事で発生する廃棄物の排出量を削減し、リサイクルに努めます。
4. 全従業員にこの環境方針を周知徹底します。
5. 新技術、新工法により環境に配慮した施工を推進します。

改訂日 令和5年4月6日

旭 開 発 株 式 会 社

代表取締役社長 黒木 豊幸

## 4. 環境経営目標

当社の環境目標は、環境負荷の調査結果より以下のような目標を設定いたしました。  
 なお、目標設定の基準は2020年度～2022年度のデータの平均を使用しています。

取組み項目 (目標項目) (単位)	実施区	年 度 別 環 境 目 標				
		基準値 (2020年度～2022 年度の平均)	2023年度 (2023年04月～ 2024年03月)	2024年度 (2024年04月～ 2025年03月)	2025年度 (2025年04月～ 2026年03月)	
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2)	事務所	9,566.5	9,518.7	9,509.1	9,499.5	
	現場	84,918.9	84,494.3	84,409.4	84,324.5	
	全体	94,485.4	94,013.0	93,918.5	93,824.0	
			0.5%削減	0.6%削減	0.7%削減	
	①電気使用量の削減 (総電気使用) (kWh)	事務所	6,370.9	6,339.0	6,332.7	6,326.3
		現場	33,234.8	33,068.6	33,035.4	33,002.2
		全体	39,605.7	39,407.6	39,368.1	39,328.5
			0.5%削減	0.6%削減	0.7%削減	
	②ガソリン使用量の削減 (L)	事務所	3,195.6	3,179.6	3,176.4	3,173.2
		現場	10,909.9	10,855.4	10,844.4	10,833.5
全体		14,105.5	14,035.0	14,020.9	14,006.8	
		0.5%削減	0.6%削減	0.7%削減		
③軽油使用量の削減 (L)	現場	39,983.7	39,783.8	39,743.8	39,703.8	
	全体	39,983.7	39,783.8	39,743.8	39,703.8	
			0.5%削減	0.6%削減	0.7%削減	
⑤灯油使用量の削減 (L)	現場	790.5	786.5	785.8	785.0	
	全体	790.5	786.5	785.8	785.0	
2 廃棄物の削減	①. 一般廃棄物の削減 (kg)	全社	145.4	144.7	144.5	144.4
				0.5%削減	0.6%削減	0.7%削減
	②. 建設副産物のリサイクル向上	現場	2023年度実績 (172.5t)	設計書通りの廃棄		
3. 水資源使用量の削減 (年間水資源総使用量) ( m3)				0.1%削減	0.2%削減	0.3%削減
	事務所	42.00	42.00	41.90	41.90	
	全体	42.00	42.00	41.90	41.90	

・購入電力の二酸化炭素排出係数は九州電力の0.406を使用しています。

※ 産業廃棄物（建設副産物）は工事の件数や工種によって大きく左右されるため、「設計書どりの廃棄」  
 「廃掃法を遵守した廃棄」を行う事を活動目標として取り組んでいきます。

## 5. 環境活動計画

	取組項目	活動内容
1・二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	①不在箇所、昼休みなどの電気消灯の徹底 ②空調温度の温度管理（記録表） ③照明器具やエアコンフィルターの定期的な清掃
	ガソリン使用量の削減	①エコドライブの徹底 アドリングストップ、急加速等の禁止 ②効率の良い配車〔相乗り〕 ③空気圧の定期点検(1カ月ごと)
	軽油使用量の削減	①エコドライブの徹底 ②重機の定期点検整備の実施 ③効率の良い配車〔相乗り〕 ④重機、車両のアドリングストップの実施
	灯油使用量の削減	①暖房設備の管理徹底 (ストーブのつまみは低温側で使用する)
2・廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	①廃棄物の分別計量と記録 ②コピー用紙などの節減(両面使用) ③資材梱包材の業者持帰り依頼
	②. 建設副産物廃棄方法の遵守によるリサイクル率の向上	①リサイクルのための分別 ②廃棄はリサイクル業者へ依頼 ③残余材は、持ち帰ってできるだけ再利用する。
	3. 水資源使用量の削減 (年間水資源総使用量)	①定期的な漏水点検 ②手洗い時の流し水を短くする

## 6. 環境目標の実績

環境経営目標に対する達成状況は以下の通りです。

1. 実績値は、2021年度運用期間（4月～3月）の12ヶ月間で、目標値は基準年度（2017～19年度の平均値）の同期間の削減率とする。

取組項目			2023年度目標値 (2023年04月～ 2024年03月)	2023年度実績 (2023年04月～ 2024年03月)	達成率	判定
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2)	kg-CO2		94,013.0kg-co2	38350.37kg-co2	244.1%	○
①電気使用量の削減 (kwh)	0.5%削減	事務所	6,339.0kwh	1,464.0kwh	433.0%	○
		現場	33,068.6kwh	362.0kwh	913.5%	○
②ガソリン使用量の 削減 (L)	0.5%削減	事務所	3,176.6 L	767.2L	414.1%	○
		現場	10,855.4L	3910.2	277.6%	○
③灯油使用量の削減 (L)	0.5%削減	現場	786.5L	40.0L	1921.3%	○
④軽油使用量の削減 (L)	0.5%削減	現場	39,783.8L	10,332.5L	385.0%	○
2. 廃棄物の削減と 建設副産物のリサイクル向上	①一般廃棄物の 0.5%削減	全社	144.7kg	127.1kg	113.8%	○
	②建設廃棄物の 設計書どおりの処 理	現場	設計書どおり処理 〔廃棄〕する。	設計書通り、及びマ テストにより正常処理 しました。 廃棄量 172.5t	-	○
3. 水資源使用量の削減	0.1%削減	事務所	42.0m <sup>3</sup>	18.0m <sup>3</sup>	233.3%	○

・購入電力の二酸化炭素排出係数は九州電力の0.406を使用しています。

## 7. 環境活動計画の取組結果とその評価

2022年4月1日から～2023年3月31日までの環境目標達成状況と環境活動計画の実施状況より評価しました。

取組項目	取組結果	取組結果の評価	
1・二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	○	災害復旧工事の水替えにより数値が異常に上がった期間もあるが、目標達成のための取り組みはしっかりと行っているので評価できる。
	ガソリン使用量の削減	○	現場までの距離が増えたことや現場数によって使用量が増えた時期もあるが、アイドリングストップや乗合により削減はされている。
	軽油使用量の削減	○	複数箇所での重機使用とポンプ稼働により使用量が増えた時期もあるが、エコドライブやアイドリングストップ機能搭載車の使用により削減はされている。
	灯油使用量の削減	○	暖冬だったこともあり現場での灯油の使用量は昨年と比べて減った。
2・廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	○	事務所周辺の清掃時間が大幅に増えたためその分ゴミの量も増えているが年間通してみると削減はされている。
	建設副産物廃棄方法の遵守によるリサイクル率の向上(%)	○	マニフェストによる適正処理を行っているので問題ない。 今後とも継続していく。
3. 水資源使用量の削減(年間水資源総使用量)	○	昨年に比べて使用量は減っている。 普段から節水を心掛けて水道水の使用をしているのでこういう結果になったと覆う。	

## 8. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境システムの構築と従業員の周知徹底は、これまで以上に努力をして、推進してまいります。会社のイメージアップにもつながる地域のボランティア活動もコロナ感染蔓延防止対策で活動を自粛する期間も有ったが本年度から次年度は、積極的に実施していきます。

取組み項目 (目標項目) (単位)	実施区	年 度 別 環 境 目 標				
		基準値 (2020年度～2022 年度の平均)	2023年度 (2023年04月～ 2024年03月)	2024年度 (2024年04月～ 2025年03月)	2025年度 (2025年04月～ 2026年03月)	
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2)	事務所	9,566.5	9,518.7	9,509.1	9,499.5	
	現場	84,918.9	84,494.3	84,409.4	84,324.5	
	全体	94,485.4	94,013.0	93,918.5	93,824.0	
			0.5%削減	0.6%削減	0.7%削減	
	①電気使用量の削減 (総電気使用) (kWh)	事務所	6,370.9	6,339.0	6,332.7	6,326.3
		現場	33,234.8	33,068.6	33,035.4	33,002.2
		全体	39,605.7	39,407.6	39,368.1	39,328.5
				0.5%削減	0.6%削減	0.7%削減
	②ガソリン使用量の 削減 (L)	事務所	3,195.6	3,179.6	3,176.4	3,173.2
		現場	10,909.9	10,855.4	10,844.4	10,833.5
	全体	14,105.5	14,035.0	14,020.9	14,006.8	
			0.5%削減	0.6%削減	0.7%削減	
③軽油使用量の削減 (L)						
	現場	39,983.7	39,783.8	39,743.8	39,703.8	
	全体	39,983.7	39,783.8	39,743.8	39,703.8	
			0.5%削減	0.6%削減	0.7%削減	
⑤灯油使用量の削減 (L)						
	現場	790.5	786.5	785.8	785.0	
	全体	790.5	786.5	785.8	785.0	
2 廃棄物の削減	①. 一般廃棄物の削減 (kg)	全社	145.4	144.7	144.5	144.4
				0.5%削減	0.6%削減	0.7%削減
	②. 建設副産物のリサイクル向上	現場	2023年度実績 (172.5t)	設計書通りの廃棄		
3. 水資源使用量の削減 (年間水資源総使用量) (m3)				0.1%削減	0.2%削減	0.3%削減
	事務所	42.00	42.00	41.90	41.90	
	全体	42.00	42.00	41.90	41.90	

・購入電力の二酸化炭素排出係数は九州電力の0.406を使用しています。

※ 産業廃棄物(建設副産物)は工事の件数や工種によって大きく左右されるため、「設計書通りの廃棄」「廃掃法を遵守した廃棄」を行う事を活動目標として取り組んでいきます。

・グリーン購入の目標は、購入品の中でエコ商品の率を向上させる目標とします。(エコ製品数÷総購入数)=エコ率

## 9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業に係る環境関連法規は、担当者が定期的にWeb（富士経済グループ・建設工事の環境保全法令・地方条例データサービス <http://www.group.fuji-keizai.co.jp/kensetsu/>）で確認しています。尚、環境関連法規の遵守状況確認を実施した結果、違反及び監督官庁からの指摘も、地域住民からの訴訟もありませんでした。

尚、現場での遵守状況は、月1回の安全パトロールや安全訓練等を通じて常に確認しています。

主な環境関連法規の遵守状況一覧表

法規制等	主な内容	当社の対応	遵守
廃棄物処理法	・【法21条の3-1】・建設工事に伴い生じる廃棄物処理の適用は、元請業者が排出事業者となる	・【法21条の3第3項】による運搬であることを証する書面を備え付ける	○
	・産業廃棄物が、運搬、処分するまでの保管義務、保管基準（60×60cm以上の掲示板設置等）	・表示板の設置 ・早期処理（許可業者へ委託する）	○
	・管理票A票等の5年間保管 ・管理票が決まった日までに受理できなかつたら県知事に報告する	・マニフェストの交付・保管 ・A票の照合確認欄へ受取月日を記入し保管	○
	・建設工事で生じる産業保管場所を、面積が300m <sup>2</sup> 以上の事業場外に保管する場合、県知事に届出る	・様式第二号の四による届出書を提出する ・保管基準を遵守する（看板設置など）	一
	・毎年6月30日までに、その年の3月31日以前の1年間に交付した管理票の交付等の状況を県知事に提出する	・報告書（様式3号）の作成、提出	○
建設リサイクル法	・対象建設工事の請負契約書に分別解体の方法や費用等について記載し、発注者に説明する	・工事請負契約書に関連帳票として添付する	○
	・対象建設工事受注者は、特定建設資材（コンクリート塊、コンクリート及び鉄から成る建設資材、アスファルト塊、木材）廃棄物を再資源化する	・再資源化等の促進等の実施に関する指針を遵守する	○
	・対象建設工事に係る特定建設資材廃棄物の再資源化が完了したときは、発注者に報告し、記録を作成する	・工事完了後発注者への報告（コプリスによる報告）	○
	・建設業許可または解体工事業登録の貼付 ・建設リサイクル法届出済シール貼付	・建設業許可票の看板掲示	○
オフロード法	・平成18年10月以降製造・販売機器には適合標識の表示 （基礎工事用機械・バックホウ・ブルドーザ等）	・適合証明書、表示の確認	○

## 10. 代表者による全体評価と見直しの結果

早いものでエコアクションに2011年に取り組み始めて13年経ちました。今回も昨年と同様の2017年度版を使用し戸惑う部分が多々あります。試行錯誤しながらまた新たな気持ちで取り組んでいきたいと思っております。全体評価としては全項目目標を達成しましたが、これからも全社員、協力会社を含め環境負荷の低減に引き続き取り組みを続けていきます。



リサイクルの表示  
コピー用紙の両面使用



ごみ分別の表示



分別の表示



封筒の再利用



節水の表示



節電の表示